

所得稅法中改正法律案外二十一件特別委員會會議事速記録第一號

(六一)

付託議案

大正九年法律第十二號中改正法律案

地租條例中改正法律案

明治三十七年法律第十二號中改正法律案

營業稅法廢止法律案

營業收益稅法案

資本利子稅法案

相續稅法中改正法律案

通行稅法廢止法律案

酒造稅法中改正法律案

酒精及酒類含有飲料稅法中改正法律案

麥酒稅法中改正法律案

醬油稅則廢止法律案

自家用醬油稅法廢止法律案

織物消費稅法中改正法律案

賣藥稅法廢止法律案

骨牌稅法中改正法律案

清涼飲料稅法案

大正九年法律第五十一號中改正法律案

地方稅ニ關スル法律案

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案

市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案

委員氏名

委員長

副委員長

子爵前田 利定君

男爵阪谷 芳郎君

子爵青木 信光君

子爵裏松 友光君

石原 健三君

男爵藤村 義朗君

男爵長 基連君

仁尾 惟茂君

添田 壽一君

南 弘君

井上準之助君

志村源太郎君

馬場 鐵一君

西野 元君

藤山 雷太君

末延 道成君

山田 惠一君

左右田喜一郎君

大正十五年三月二日(火曜日)午後三時十分開會

○委員長(子爵前田利定君) ソレデハ所得稅法中改正法律案外二十一件ノ特別委員會ヲ開會イタシマス、皆様ニ御諮リ致シマス

ガ、今申上ダマシタ所得稅法中改正法律案外二十一件ノ提案ノ理由ノ説明ハ、過日本議場ニ於キマシテ大藏大臣カラ詳細ニ御説明ガ一應相濟ンデ居リマスルガ、其御説明以上ノ御説明ヲ御補足ノ御必要ガアリマシラハ格別デアリマスガ、左様デゴザイマセヌナレバ省略イタシタイト思ヒマスガ、大藏大臣如何デゴザイマスカ

○國務大臣(濱口雄幸君) モウ大分詳シク申上ダマシタカラ、私ノ方カラ進ンデ追加スルヤウナコトハナイヤウデアリマス、御質問デアリマスレバ……

○委員長(子爵前田利定君) 如何デゴザイマセウカ、アノ以上ノ説明ノ補足ハ皆様ノ御要求ガアレバ格別申述ベナト云フコトヲ言ハレマスガ、御異存ガナケレバ各法案ニ對スル大體ノ御質問ヲ開始イタシタイト存ジマス

○仁尾惟茂君 各案ヲ通シテデアリマスカ

○委員長(子爵前田利定君) 左様デゴザイマス、何レノ都合デモ宜シウゴザイマス

○男爵藤村義朗君 私ハ質問ガ始マリマスル前ニ政府ニ書類ノ提出ヲ御願シタイノデアリマス、是マデノ御演説、大藏大臣其他ノ御演説ノ中ニ、此整理ノ理由トシテ負擔ノ公正ヲ計ルトカ、均衡ヲ計ルトカ云フ御言葉ガ度々見エテ居リマスガ、ドウ云フ風ニ一體負擔ノ公正ヲ計ルトカアルカ、均衡ヲ得ルノデアアルカ、無論其數字上ノ根據ヲ御待チデアアラウト思ヒマス、今日ハ斯クノ工合デアアルカラ均衡ヲ得テナイ、斯ウ云フ風ニ改正スレバ斯様ノ數字ニナルカラ均衡ガ得ラレルト云フヤウナ、數字上ノ統計ト云ヒマスカ、出來テ居ラウト思ヒマスカラソレヲ出來ルダケ詳シイモノヲ頂戴シタイト思ヒマス、例ハ國民ノ各階級ノ所得額ノレガ此度ノ改正ニ依ルトドウ云フ風ニ増減スルカ、又各階級ノ……是ハドウ云フ風ニ區別ガ出來マスカ、ソレハ政府ノ御見込デアリマスケレドモ、負擔能力ガ今日ドシナモノデアアルカ、又負擔額ガドウ云フ風ナ工合ニナッテ居ルカト云フヤウナ統計ヲ頂戴シタイト思ヒマス、ソレカラ其外ニ先達テ本會議デ願ヒマシタ數字モ頂戴シタイト思ヒマス、ソレカラ義務教育費ノ國庫負擔額ガドンナ風ニ市町村ニ分配サレテ、ドウ云フ風ニ使ハレテ居ルカト云フコト、尙ホソレニ關聯シマシテ、市町村トニ於ケル地租ノ負擔額ノ割合、度々御説明ニナッテ、一割九割ト云フヤウニ御説明ニナッテ居ルガ、ソレヲドウゾ數字デ以テ御示シテ

願ヒタイト思ヒマス、其外ニ二願ッテ置キタイノハ地方稅ノ中ノ雜種稅、是ノ種類、之ヲ種類別ニシ、又府縣別ニシテ詳シイ統計ヲ一ツ頂戴シタイ、頂イタ參考書ノ中ニ廢スベキモノトカ、或ハ營業收益稅ノ中ニ加ヘベキモノトカ云フヤウナ表ハアリマスケレドモ、現在ノ雜種稅ノ種目、是ガドウ云フ風ニナッテ居リマスカ、其統計ヲ一ツ願ヒタイ、ソレカラモウ一ツハ地方費ニ對スル國庫補助、此總額ハ參考書中ニアルヤウデアリマスケレドモ、此明細ヲ一ツ頂キタイト思ヒマス、外ニモ或ハ頂戴シナケレバナラヌモノガアルカモ知レマセヌケレドモ、差當リドウゾソレダケ御提出ヲ願ッテ置キマス

○國務大臣(濱口雄幸君) 唯今ノ藤村男爵ノ第一ノ御希望デアリマス負擔ノ公正ヲ計ルト云フコトガ、稅制整理ノ一ツノ目的ニナッテ居ル、ソレヲ數學ニ依ッテ負擔ノ公正ヲ如何ニ得ラレルカト云フコトヲ表ハス表又ハ國民ノ各階級ニ依ッテ現在ノ制度デハ是ダケノ負擔ニナッテ居ル、ソレヲ此度ノ整理ニ依ッテ斯様ニ改メルカラ公正ヲ得ルコトニナルト云フコトヲ、數字デ以テ提出スルヤウニト云フ御注文デアリマシタガ、是ハ實ハ非常ニ難カシイ統計デゴザイマシテ、衆議院ニ於キマシテサウ云フ統計ヲ求メラレマシタケレドモ、ナカ……是ハ困難デアリマスカラ、……何ントナレバ國民ノ各階級ト言ヒマシタ所デ、之ヲドウ云フ風ニ國民ヲ第一分ケルカト云フコトガ問題デアリマス、普通申シマスル所ノ資產階級、中產階級或ハ無產階級ト申シマスカ、ソレヲ

左様ニ區別スルコトが適當デアルヤ否ヤト云フコトモ疑問デアリマス、又適當デアルトシテモ其區別ノ標準如何、何處ニ標準ヲ置イテ、幾ラ以上ノモノヲ資産階級トシ、幾ラ以上ノモノヲ中産階級トシ、其以下ヲ無産階級トスルカト云フ其區別ノ標準ハナカナ困難デアリマス、而シテソレガ困難デアルト同時ニ、從テ是迄社會ノ各階級別ニ國民ガ如何ナル負擔ヲシテ居タカト云フコトヲ見ルコトハ、又同時ニ困難デアリマス、サウシテ最後ノ結論トシテ、此度ノ整理ニ依ッテソレガ如何ニ調和セラレルカト云フコトヲ數字のニ階級毎ニ表ハスト云フコトハ、是ハ頗ル難カシイ事柄デアリマス、併シ説明トシテ申上ダマスレバ大體申上ダルトハ出來ルト思ヒマス、數字ヲ離レテ、例ヘバ今日ノ租税ノ體系カラ考ヘマシテ、所得税ハ申ス迄モナク總テノ所得ヲ納税者ト云フ個人ニ綜合シテ課税スルト云フコトガ立テ前ニナッテ居リマス、所デ所得税法ノ立テ前デハ資産所得ニ特ニ重キ租税ヲ課スルト云フ目的ヲ達シナイト云フコトガ、所得税ニ對スル所ノ非難ノ點デアッテ、所得税法ノ缺點デアリマス、ソコデ其缺點ヲ補ウ爲ニ特ニ資産ノ所得ニ對シテ特別ノ租税ヲ課シテ之ヲ補充スルト云フコトヲ各國共ニ行ッテ居リマス、現在ノ税法ニ於キマシテモ是ハアリマス、即チ土地ノ所得ニ地租ヲ課スル、營業ノ所得ニ營業税ヲ課スルト云フコトハアリマスルケレドモ、ソレガ不十分デアリマス、土地ノ所得ト營業ノ所得トヲ合セタ所ノ他ノ所得ガアル、即チ此度ノ資本利子ノ所得ニ相當シマ

ス、ソレニ對シテハ現在ノ所、所得税ノ課税以外ハ何等ノ補充税ヲ課シテアリマセヌ、是ガ一ツノ直接税ノ體形ニ於ケル所ノ一ノ缺點デアリマス、此度資本利子税ヲ新ニ設ケマシテ、直接國稅ノ體形ヲ正シマスルト同時ニ、各種ノ資産所得ニ對スル所ノ負擔ノ均衡ヲ圖ルコトニ致シマシタ、サウシマススト云フト資産所得ノ中デ免レマスモノハ家屋ニ投シタル所ノ資本ノ所得デアリマス、是ハ説明ノ際ニモ申上ダテ置キマシタガ、完全ニ理想的ノ直接國稅ノ體系ヲ正シテ負擔ノ均衡ヲ圖ルガ爲ニハ、家屋税ヲ國稅トシテ創設スルコトガ一番理想デアリマスケレドモ、是ハ徵税上ノ便否ト云フコトモ能ク考ヘナケレバナリマセマス、到底國稅トシテ家屋税ヲ取ルト云フコトハ實行甚ダ困難デアリマスノミナラズ、是マデ地方稅トシテ一ツノ財源ヲシテ居タモノデアリマスカラハ是ハ兩方ノ點カラ考ヘマシテ地方稅トシテ之ヲ存置シ、存置シタ上ニ新ニ之ニ向ッテ改善ヲ加ヘル、從テ之ヲ國稅ニハスレナイト云フコトニシテ、負擔ノ公正ヲ國稅ト地方稅トヲ通ジテ其點ニ付テハ期スルト云フコトニ致シタルデアリマス、ソレカラ免稅點カラ言ヒマシテモ一面カラ申シマスレバ、是ハ社會政策デアリマス、地租ニ新ニ免稅點ヲ設ケ、所得税ノ方ハ八百圓カラ千二百圓ニ引上ダ、相續税ノ方ハ二千圓カラ五千圓ニ引上ダルト云フコトハ主トシテ社會政策カラ出テ居リマスケレドモ、此引上ヲ行ハネバナラヌト云フコトハ即チ現在ノ儘ニシテ置イテハ、現在ノ經濟狀態ニ照シテ負擔ガ公正ヲ得テ居ナイト云フコトカラ出發シテ居ルト考ヘルノデアリマス、然ラバ千二百圓ガ宜シイカ、或ハ千三百圓デハイカヌカト云フ大體ノ客觀的ノ議論カラ、先ヅ千二百圓ニシテ置イタ方ガ負擔ノ

公正ヲ期スルコトガ出來ルデアラウ、相續税ニ付テモ同様デアアル、地租ニ付テハ他ノ考モアリマシテ自作小農獎勵ト云フ考モアリマスケレドモ、一面カラ申シマススト云フト、小農ハ負擔力ニ乏シイト云フ點カラ考ヘマススト云フト、是亦負擔ノ公正ヲ圖ルト云フ目的ヲ達スル所以ニモナリマス、ソレカラ生活ノ必需品ニ對スル所ノ間接税ヲ大分廢税イタシマシタ、是亦社會政策デアリマスガ、其社會政策ヲ行フト云フ基調ハ矢張り負擔ノ均衡ヲ得テ居ナイ、或ル程度ハ、ソレ故貧者ニ對シテハ此負擔ヲ輕クシ、サウシテ負擔ノ公正ヲ期スル、斯ウ云フコトヲ考ヘルノデアリマス、左様ニ一ツ一ツノ例ニ付テ組織的ニ説明シマスレバ負擔ノ公正ヲ圖タト云フコトガ申上ダラレマスケレドモ、前段申上ダマスル通り社會ノ各階級毎ニ負擔ヲドレダケ公正ニシタカ、ト云フ數字ヲ以テ示スコトハ甚ダ困難デアラウト思ヒマス、併シ出來マスカドウカ能力調査イタシマシテ、幸ニ出來マシタナラバ御目ニ掛ケルコトガ出來マスガ、蓋シ困難デハナカラウカト思ヒマス

○男爵藤村義朗君 大藏大臣ノ御説明ハ拜承イタシマシタ、私ノ御要求イタシマシタノハ、隨分困難デアアラウト存ジテ居リマシタケレドモ、或ハサウ云フヤウナ統計ガ出來テ居ナイカト思タノデアリマス、若シ何等カノ據ルモノガアルナラバドウゾ頂戴願ヒタイ、實ハ或ル新聞ニ斯ウ云フコトガ出テ居リマス、國民ノ階級ヲ資産階級、ソレカラ中産階級、ソレカラマア下層階級ト云フヤウナ三ツニ大別シマシテ、資産階級ハ二十萬圓以上ノ資産ヲ持ッテ居リマス、一萬圓以上ノ所得ガアル者、五十圓以上ノ地租ヲ納メテ居ルト云フヤウナコトニシテ、中産階級ノ方ハ資産ハ千圓以上、所得ハ八

百圓以上、地租ハ五圓以上ト云フヤウナ大體ノ區別ヲ付ケ、サウシテ今回ノ改正ニ、資産階級ハ一世帯ニ付テ百二十二圓程負擔額ガ減ジテ居ル、又中産階級ノ者ハ四圓何十錢ガ減ジテ居ル、然ルニ下層階級ノ者ハ六十五錢程増シテ居ルト云フヤウナ數字ヲ示シテ居タ新聞ヲ見タノデアリマス、是ハドウモドウ云フ此勘定ノ仕方ヲヤタカソレハ私ハ知りマセヌ、或ハ煙草ノ引上ダトカ、或ハ關稅若クハ酒ノ増税ト云フヤウナモノモ、ソノ中ニブチ込ンデアッタ爲ニ、或ハ下層ダケガ増スト云フヤウナ結果ニナッテ居ルノカモ知レマセヌガ、マアサウ云フ統計モ見マシタケレドモ、政府デモ何カ是ニ類似シタヤウナ御調ガアリハセヌカト思タノデアリマス、若シゴザイマシタラ願ヒタイノデアリマス、尙ホ付加ヘテハハモウ無論何カ戴イテ居リハセヌカト思ヒマスケレドモ、制度ノ目的デアアル社會政策の效果ヲ現ハスト云フ意味ニ於テノ改正ト、ソレカラ産業發達ニ資スルト云フ意味ニ於テノ此目的、是ガドウ云フ風ナ數字ニナッテ居リマスガ、是ハモウ直グニ御示シ下サルコトガ出來ララウト思ヒマス、是モ序ニ一ツ願ッテ置キマス

○國務大臣(濱口雄幸君) 唯今最後ノ御註文ハ是ハ直グニ出來マスカラ差上ダマス

○馬場鑒一君 私モ參考書類ヲ少シ願ヒタイノデアリマス、是ハ主トシテ地方税ニ關スル法律案ノ例ヘバ家屋税ノ賦課率ニ付テ、賦課ノ制限、營業税ヲ課スベキ營業ノ種類、或ハ戶數制賦課ノ制限等、勅令ニ委任セラレタル事項ガ大分アリマシテ、可ナリ重要ナルモノガアルヤウニ存ジマス、ソレハ此勅令案ノ内容ト申ス迄ノコトデナクテ宜イノデ、規程セラレル重ナル事項ヲ綱領デ宜シウゴザイマスカラ御示シ願ヒマス

○國務大臣(若槻禮次郎君) 承知イタシマシタ

○男爵阪谷芳郎君 私モ一ツアリマス、所得稅ヲ全部源泉課稅ニシテ今ノ率ハドノ位ニナリマス、是ハ非常ニ率が高クナレバ到底行ハレヌコトデアリマス、カ低クテ濟メバ大變結構デアリマス

○國務大臣(濱口雄幸君) 大體分ルダラウト思ヒマス、後カラ調ベマシテ差上デマス

○男爵阪谷芳郎君 配當ヲ入レタ全部ノ源泉課稅ヲ...

○添田壽一君 私ハモウ少シ根本ニ付テ伺ヒマセヌト少シモ進メヌデアリマス、甚ダ御迷惑デゴザイマセウガ、根本ノ點ニ付テ大藏大臣ノ御考ヲ伺ヒタイト思フデアリマス、本日本院議場ニ於キマシテ政府ハ此單一稅法ト云フ、所得稅法ト云フ主義ハ取ラナイト云フコトヲ明ニ御市下サイマシタノデ、其點ハ諒解イタシマシタ、併シサウナリマス、云フト租稅ノ體系ノ問題デアリマス、詰リ財產稅ト云フヤウナモノニ依ッテ補充スル、一般所得稅ノ缺點ヲ補充スルト云フ路ニ出ヅルノ外ハナイト思フデアリマス、其御趣意カラ言ヒマスト、此財產ノ一部分ヲ爲ス處ノ家屋ト云フモノハ家屋稅ト云フモノヲ地方ノ財源ニ御譲リニナタト云フ所ガドウシテモ私ニ了解シ難クナテ來ルノデアリマス、ソコデドチラノ御趣意デアリカト云フコトヲ御尋ネ申上ダタノハ、其爲メデアリマス、デソコハドウ云フ風ニ御説明ニナリマス、詰リ此財產稅ト云フモノヲ地方ノ方ニ讓タト云フコトニ付テ、其爲ニ此單一稅デナイト仰セラレ、所謂複雜稅デ行クト云フ御趣意ガ少シ傷キハシマセヌカト云フコト

貴族院所稅法中改正法律案外二十一件特別委員會議事速記第一號 大正十五年三月二日

ノ疑ヲ晴ラシテ頂キタイノデアリマス、ソレガ大體、體系デアリマス、次ニ伺ヒタイノハ直稅ト間稅ノ比例デアリマス、是ハ大藏大臣ハ如何ナル程度ニ其比例ヲ置クト云フコトガ宜シキヲ得タモノデアルカドウカト云フ御考ヲ伺ヒタイ、多クハ先ヅ之ヲ平均、各同一ノ負擔額ニスルガ宜イト云フヤウニ考ヘル者ガアルヤウデゴザイマス、併シ政府ハ行キ當リハタリ、ソコニ何等ノ豫メ御設ケニナタ標準ハナイト云フデアリマセウカ、其點ヲ伺ヒタイ、ソレカラ次ハ此中央、地方ノ關係、中央國稅ト地方稅トノ關係、是ハ御承知ノ通り二ツノ主ナル方法ヲ見ヤウデアリマス、單一稅ノ方針デ進ミマスナラバ、總テ所謂地方ハ國稅ニ附加スルコト云フ組織デ行クトニナリマス、非常ニ單純ニナッテ參リマスノデアリマス、我ガ政府ハ其單一稅ト云フ方ヲ御採用ニナラナイト致シマスレバ、地方ニハ所謂國稅附加稅ト云フモノハ寧ろ御止メニナルベキデハナイカト思ヒマス、現在此表ニ依ッテ見マスト、今度ノ稅制整理ニ於キマシテハ、附加稅ト云フモノハ餘程矢張り重キヲ置イテ御在デニナルヤウデアリマス、ソコガ少シ私ニ疑ヲ生ゼシメル所以デアリマス、併シサウ明白ニ附加稅バカリトガ、或ハ直接稅デ行クト云フヤウニキマリトハ行キマス、マイデアリマセウガ、其點ニ付テハ若シ單一所得稅法ト云フ組織デ地方附加稅ト云フ組織ヲ御排斥ニナリマスナラバ、詰リ地方稅ハ特別稅ト云フコトガ本位ニナラナレバナラヌト先ヅ幾ラカ體系ニモ話ガ互リマスガ考ヘラレルノデアリマス、ソコラニ付テ大體ノ仕組、即チ此度ビ御提出ニナリマシタ稅整案ノ大方針ト云フモノニ付テ私ノ疑ヲ晴ラシテ頂ケバ大變有難イノデアリマス

○國務大臣(濱口雄幸君) 唯今ノ御質問ノ初メノ二點ニ付キマシテ私カラ御答ヲ申上ダマス、第一ハ租稅ノ體系論デアリマシテ本會議デモ御質問ガアリマシテ、此度ノ整理案ニ於テ政府ガ是マデノ營業稅ヲ廢シテ之ニ代フルニ營業收益稅ヲ以テシタ、此收益稅ノ課稅標準ハ營業純益トナッテ居ル、サウスルト云フト、是ハ最早補充稅デハナクシテ、特別所得稅ノヤウニナッテ居ル、サウスルト政府ハ將來所得單一稅主義ヲ採ルト云フ考ヲ持ッテ居ルンデハアルマイカ、斯ウ云フ意味ノ御質問ガアリマシタ、ソレニ對シテサウ云フ考ヘテ持ッテ居ラヌト云フコトヲ御答シテ置キマシタ、唯今ノ御質問ハ若シ所得單一稅ト云フ考ヘテ以テ居ナイデ、各種ノ補充稅ヲ以テ所得稅ヲ補充スルト云フ體系ガ宜シイト云フ考デアルナラバ、何故ニ家屋稅ヲ國稅トセズシテ地方稅ニ移シタカ、斯ウ云フ御質問ノヤウデアリマスガ、家屋稅ノ課稅標準ハ是ハ賃貸價格ニ依ッテ課稅スル積リデアリマシテ、家屋ノ時價ニ依リ課稅スル意思デアリマセヌデ、即チ財產稅ノ一種ニアラズシテ是ハハソノ收益稅ニナル、斯ウ云フ積リデアリマス、家屋稅ヲ國稅ニ致シマスト云フコトハ、租稅ノ體系論、即チ補充稅ノ理論ヲ徹底的ニ貫徹スル爲ニハソコマデ行カナレバ貫徹セヌト思ヒマス、レドモ御承知ノ通り租稅ハ理論ト實際トノ調和ヲ求メテ理論ニモ大體協ヒ、又實行上モ便宜デアルト云フ調和ヲ求メテ制度ヲ立テナレバナラヌモノト思ッテ居リマス、其點カラ言ヒマスト、他ノ補充稅即チ地租營業收益稅、資本利子稅ト云フモノハ國稅トシテ、之ヲ執行スル上ニ於キマシテ、執行上カラ言ッテモ別ニ困難ハアリマセヌ、又主義ニモ合致シテ居リマス、カ之ヲ國稅トシマス

ガ、獨リ家屋稅ニ至リマシテハ先キニモ申上ダマシタ理由ニ依ッテ、ドウモ、賦課徵收スルコトガ甚ダ困難デアル、サウシテ地方稅トシテ取ラレタ方ガ宜シカラウ、又是マデノ沿革、實際ノ狀況カラ申シマシテモ、現ニ地方稅トシテ一ツノ財源ニナッテ居ル關係モアリマス、此稅ガハ理論ニハ合致シマセヌガ、完全ニ合致シマセヌガ、實行上ノ便宜ニ重キヲ置イテ、是ダケハ地方稅トシテ讓ッテ置ク、國稅ニハシナイ、斯ウ云フ方針ヲ採ッタノデアリマス、ソレカラ第二ノ直接稅、間接稅ノ比率ハドレ位ノ所ヲ適當ト認メテ、此整理案ヲ作ッタカト云フ斯ウ云フ御質問デアリマシタ、是ハハ中ノ困難ナ問題デアリマシテ、直接稅、間接稅ハ五分五分デアルトカ或ハ七分三分デアルトカ申シマス、コトハ沿革ニモ依リマス、又國情ニモ依リマス、必シモ一定シタル原則モナカラウト考ヘマス、此度ノ稅制整理ヲ行フニ當リマシテハ、別ニ直接稅、間接稅ノ比率ハ七分三分デナレバナラヌ、或ハ五分デナレバナラヌト云フ點ヲ先決問題トシテ決メテ置イテ、然カル後ニソレニ合致スルガ如クニ整理ヲヤッタノデハナイノデアリマス、私共ノ考ヘデハ衆議院デモ申シマシタガ、直接國稅、間接國稅ト云フコトハ勿論ハ形式上ノ區別デアッテ、國民ノ負擔ヲ論ジ、其衡平ヲ期スル上ニ於キマシテ、餘リニ此區別ニ重キヲ置カヌデモ宜クハナイカト云フ考カラ此點ニ付テハ、實ハ是ダケノ歩合ニセナレバナラヌト云フコトヲ豫メ決メテヤッタ譯デハナイノデアリマス、要スルニ稅ノ體系ヲ正スト云フコトヲ負擔ノ均衡ヲ期スルト云フコトト社會政策ヲ實行スルト云フコトト、ソレカラ唯今藤村男爵ノ御述ベリニナリマシタ通り、事業ノ基礎ヲ鞏固ナラシメ產業ノ

發展ヲ助成スル此點ニ重キヲ置キマシテ、直接國稅、間接國稅タルトニ拘ラズ、等シクソレニ向テ整理ノ案ヲ下シタ譯デアリマス左様御承テ願ヒマス

〔藤山雷太君發言ノ許可ヲ求ム〕

〔國務大臣若槻禮次郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

〔添田壽一君「今一ツ御尋ネヲシタイコトガアリマスガ……」ト述フ〕

○委員長(子爵前田利定君) チョット添田君御待テ願ヒマス、今總理大臣カラ答辯ガアリマスカラ……

○國務大臣(若槻禮次郎君) 添田君ノ御質問ノ今一點ハ國稅ト地方稅トノ關係デ若シ國稅ニ付テ、所得稅單一稅ノ主義ヲ採ルナラバ、地方稅ハ附加稅主義宜シケレドモ、國稅ハ單一所得稅デナイ以上ハ、其地方ノ財源ハ附加稅デナク、特別ノ財源ヲ作ル方ガ宜イデヤナイカト云フ風ナ御意見デアッタヤウニ聞エタノデアリマスガ、違テ居レバ御許シテ願ヒマス、私ハ所得稅ノ單一國稅ナル故ニ、地方稅ハ附加稅ヲ財源トシテ宜シク、國稅ガ各種ノ財源ヲ用ヒテ居ルナラバ、地方稅ハ特別ナル財源ヲ持ツ方ガ宜イト云フ其理論ニハ私御同感デアルト申シ難イノデアリマス、要スルニ理想ヲ言ヒマスレバ、國稅ノ財源ト、地方ノ財源トハ別ニナツテ居ル方ガ私ハ宜イト思フノデアリマス、別ニナリ得ル限り、サウヤリタイト思ヒマスガ、併シ今日ノ府縣ナリ、市町村ナリノ要スル歲入ヲ、國稅ト全然離レタ財源ニノミ求メシメヤウトシタ所ガ、今日ノ地方ノ財政ト云フモノハ持テ行ケナイノデアリマス、ソレデ出來ルナラバ特別ノ財源ヲ求メシメタイト云フ考ハ十分アリマスケレドモ、併シ、ソレノミデハ財源ガ足りナイ以上ハ、已ムヲ得ズ附加稅モ尙ホ之

ヲ認メンケレバナラヌト、今ハ大體ノ考ヘデ居リマス、而シテ此度ハ府縣ニ付テノ國稅ヲ離レタル特別財源ハ唯今御質問中ニモアリマシタ、家屋稅、ソレカラ特別地稅、地方ノ營業稅雜稅、是ガ特別財源デ、其他ハ矢張り附加稅ヲ用ヒテ居リマス、ソレカラ市町村ノ方ノ特別財源ハ戶數制ト云フモノノ國稅ヲ離レタル特別財源ニナツテ居リマス、其他ハ已ムヲ得ズ附加稅ヲ課シテ居リマス、是ハ理想ヲ言ヘバ、財源ヲ別ニスル方ガ宜シカラウト思ヒマスガ、ドウモソレデハ地方ノ今日ノ財政ノ賄ヒガ付キマセヌ、已ムヲ得ズ附加稅モ合セテ課スルト云フコトニナツテ居リマス

○添田壽一君 甚ダ恐レ入リマスガ最も重大ナリト思ヒマス點ニ付テ、大藏大臣ノ御考ヘヲ煩ハシタイト思フノデアリマス、ソレハ地租委讓ノ問題デアリマス、ソレハ御承知ノ通り非常ナル實際問題トナツテ居リマス、其可否ハ餘程慎重ニ考ヘナケレバナラヌ問題デアリマシテ、マダ可ナリスル方モ、否ナリスル方ニモ雙方各、幾多ノ論據ヲ擧ゲテ、自說ヲ主張サレル場合デアリマスガ、其說ノ可否ト云フヤウナコトハ今日伺フ必要ハナイノデアリマス、唯私ガ申上ゲタイト云フ所以ハ、既ニ單一所得稅ト云フ「システム」、組織ト云フコトヲ御採用ニナラナイ以上、即チ複雜セル制度、多種ノ補充稅ト云フ組織ニ依ッテ、我が租稅ノ體系ヲ御定メニナルト云フ、斯ウ云フ御趣意デアリマスル以上ハ、即チ不動產ト云フ如キ財產ハ、最も重要ナル財源タラザルヲ得ナイ、此不動產ノ中ニ於テ最も重キヲ置クベキノハ、即チ土地デアリマス、サウスレバ此點カラ此地租ト云フモノヲ色ニ改正ニナルト云フコトハ、無論アルベキコトデ、大イニソレハ是認シナケレバナラヌノデア

リマスガ、此地租ト云フ大切ナル、即チ國ノ財源ヲ地方ニ御讓リニナルト云フコトハ、即チ體系ニ對スル大體ノ根本方針ガ改メザル以上ハ生ジテ來ナイ譯ダト思ヒマスガ、左様ニ心得テ宜シウゴザイマスカト云フコトダケヲ……

○國務大臣(濱口雄幸君) 地租委讓論ガ世間ニ大分アルト云フコトハ私承知ヲ致シテ居リマス、衆議院ニ於キマシテモ同ジ議論ヲ承ツノデアリマス、其委讓論ヲ主張スル人ノ、委讓ノ理由ニ付テ詳シク申上ゲル必要モナカラウト思ヒマスガ、委讓ニ反對スル方カラ申上ゲマス、種々意見モアルデアリマセウ、或ハ國體論ヲ掲ゲル者モアルヤウデアリマス、或ハ愛國論ヲ唱ヘル人モアリマセウシ、免三角個人トシテハ種々ナル意見ヲ持ツテ居リマセウガ、政府ノ考ヘト致シマシテハ、第一ハ體系論カラ出發シテ、地租ニ大體區別スルコトガ出來ヤウカト思ヒマス、體系論ハ唯今添田君ノ御說ノ通りデアリマス、大體ニ於キマシテ……既ニ所得稅ヲ中樞トシテ、各種ノ包含稅ヲ設ケテ、直接國稅ノ體系ヲ整備スルト云フ主義ヲ取リマシタ以上ハ、地租ノ如キハ國稅トシテ最も必要ナル稅デアラウト思ヒマス、營業稅又然リト考ヘマス、若シ地租ヲ委讓スルト云フコトニナリマスレバ、勢ヒ營業稅モ委讓シナケレバ凡テ理論トシテモ體系ガ整ハヌト思ヒマス、然ラバ家屋稅ハドウカ、家屋稅ハ地方稅宜シイト云フテ、地租ハ國稅デナケレバナラヌト云フコトハ、理論ガ徹底シナイデヤナイカト云フ非難ガ起ルデアリマス、家屋稅ハ現ニ國稅デアリマセヌ、從テ委讓問題モ起ラナイ、地租ハ國稅トシテ御承知ノ通り重要ナル地位ヲ占メテ居ル確定稅デアリマス、ソレヲ改メテ地

方ニ移ス必要モナイ、ソレヲ移シマスト直接國稅ノ體系ヲ紊ルト云フ、斯様ニ考ヘルコトガ第一デアリマス、第二點ノハ財源論デアツテ、而モ政府ノ最も重キヲ置イテ居リ、財源論カラ申シマスル、御承知ノ通り今日ノ我國ノ財政狀態ニ於キマシテハ非常ニ財政ガ豊カナリト申ス譯ニハ參リマセヌ、ドチラカト申シマス、財政ハ難儀デアリマス、此難儀ナ立場カラ種々ノ施設ヲヤラナケレバナリマセヌ、到底刻下ノ要求ニ全部應ズル譯ニハ參ラヌ現狀デアリマス、從テ此度稅制整理ヲ行ヒマスルニモ、歲入ニ著シキ増減ナカラシムル範圍内ニ於テ、之ヲ行フ外ナイト云フ位ノ財政ノ狀態デアリマス、サウ云フ場合ニ於キマシテ、七千四百萬圓ト云フ恒久的財源ヲ提供シテ居ル所ノ地租ト云フモノヲ、國稅カラ失ヒマシテ、地方ニ移スト云フコトハ、サナキダニ難儀デアル所ノ財政ヲ愈々難境ニ陥ラシメルモノデアリマス、財政ノ基礎ハ頗ル薄弱ニナルト思ヒマス、ノミナラズ理論ノ命ズル所ニ從ツテ地租ヲ移ス以上ハ、營業稅モ移サナケレバナラヌコトハ必然ノ勢ヒデアリマス、サウナリマス、愈々國家ノ財政ハ薄弱ヲ極メルト云フコトニナラウト思ヒマス、ソコデ營業稅ノ問題ハ暫ク他日ノ問題トシテ、地租ダケ委讓スル時ニハ、其委讓ニ依ッテ生ズル所ノ中央ノ財政ノ缺陷ヲ補填スル途ハドウナルト云フコトノ議論ヲ宜ク承リマス、第一ニハ委讓論ヲ唱ヘル人タチハ、關稅ノ增收ヲ以テ其一部ニ充ツベシト稱シテ居ルガ、關稅ノ改正ニ付テハ唯今衆議院デ審議中デアリマスガ、政府ノ計算ヲ申シマスレバ平年度ニ於テ一千九百三十萬圓ノ增收ヲ得ル見込デアリマス、大體二千萬圓……ソレハ既ニ政府ノ財政計畫ニ入レテアリマスカラ財政計畫ヲ大ニ變更セザ

ル限リハ、ソレヲ以テ地租委譲ノ財源ニ充
テ爾譯ニハ參リマセヌ、ソコデ委譲ヲ主張
シマスル人々ノ議論ヲ聽キマス云フト、
關稅ノ改正ニ依テ政府ノ案ノ通りニ致シテ
モ二千萬圓内外ノ增收ヲ生ズルニハ止マラ
ヌト思ヒマス、少クモ三千万圓或ハ四千万
圓内外ノ增收ヲ見ルデアラウ、又政府ノ案
ニ依テソレダケノ增收ヲ得ルコトが出来ナ
イナラバ、更ニ關稅ノ稅率ヲ高メテモ宜シ
イ、ソレニ依テ大體二千万圓位ノ超過增收
ヲ得マシテ、ソレヲ地租委譲ノ財源ノ一部
ニ充テル、殘タ數千萬圓ト云フモノハ、マ
ダ足リマセヌ、其足ラナイ財源ヲ得ル爲ニ
大正十四年ノ豫算編成ノ際ニ御承知ノ通
リ、行政財政ノ整理緊縮ヲ行ヒマシタ、ソ
レニ依テ政府ハ七十五萬圓カラノ恒久財
源ヲ得タノデアリマス、所デ整理ノ副產物
ト致シマシテ、多數官吏ノ淘汰ヲ致シマシ
タ、ソコデ其淘汰サレタル所ノ官吏ニ與ル
所ノ年給、恩給、其恩給金額、退職資金ヲ
交付イタシマシタ公債元利拂ノ費用ト云フ
モノヲ合セマスト、年額九百萬圓バカリ新
規歲出ヲ要スル、其新規歲出ヲ行政整理ニ
依テ得タ所ノ恒久財源タル七十五萬圓
カラ純剩餘ガ恒久財源トシテ六十六萬圓
殘ル、其殘テ居ル財源ヲ政府ハドウ使フ
居ルカト云フト、一般財政ノ方ニ無論混合
シテ使フテ居ルガ、ソレガ觀面ニ現ハレタ効
果ト云フモノハ帝都復興諸費、帝都復興諸
費ハ是マデ公債財源ニ於テ支辨スル計畫ニ
ナッテ居、タモノヲ、公債ヲ市場ニ一々募集
スルト云フコトハ財界ニ惡影響ヲ及ボスト
云フ理由ヲ以テ、行政整理ニ依テ得タ恒
久財源ヲ公債募集ニ繰替ヘテ帝都復興ノ事
業ニ充テ、居ル、然ルニ最早財界ノ狀況ハ
多數ノ公債ヲ公募シテモ差支ナイト云フ場
合ニ立至ラタニ依テ、ソコデソレヲ元ノ通

リ公債支辨事業ノ財源ニ還元ヲシテ、帝都
復興ノ費用ノ中數千萬圓ト云フモノハ新ニ
公債ノ發行ニ依テ復興ノ費用ヲ調達シ、サ
ウシテ復興ノ方ニ向ケテアツタ行政整理ニ
因ル恒久財源ヲ地租委譲ノ財源ニ振向ケル
ベシト云フ議論ヲ唱ヘテ居リマス、ソレハ
私ノ考ヘデハ今日ハ然ルベカラズト考ヘテ居
リマス、宜シクナイト考ヘマス、イロ／＼
ノ經緯モアリマススケレドモ併シ端のニ申シ
マス、地租委譲ハ行ハレテ、ソレニ依テ
生ズル所ノ、國家ノ歲入ガ不足シタ、其不
足額ヲ補填スル爲ニ公債ヲ募集スルト云フ
議論ニ歸著シマス、歸スル所ハ……而シテ
其人ノ申ス所デハ帝都復興事業ハ大正十
七年度デ完成スルデハナイカ、十八年度以後
ニ至レバ帝都復興ノ事業ハ無イニ依テ公
債支辨ニ依ル、必要ガナイ、即チ十八年度
以後ニ於テハ十四年度ニ行タ行政整理ニ
依テ得タ恒久財源ガアルカラ、ソレニ依
テ十八年度カラハ地租委譲ガ出ルデヤナイ
カト云フ議論デアリマスガ、ソレハ實際ト
違ヒマス、既ニ此恒久財源ハ將來ノ財政計
畫ニ當嵌メテシマツデアリマス、ソレ故ニ地
租委譲ヲヤツテ茲ニ數千萬圓ノ財源ヲ恒久
的ニ要スルト云フコトニナリマスレバ今日
ノ財政計畫ヲ根底カラ變更センケレバ出テ
來マセヌ、根底カラ變更シテ更ニ大ニ行政
財政ノ整理ヲ嚴肅ニ行テ其金ヲ出ス、然ラ
ズンバ永久的ニ公債ヲソレダケ増發スル計
畫ヲ今日立テルカ、或ハ他ニ増稅ヲヤル、
其三ツノ外ニ財源ノ出ヤウガナイと思ヒマ
ス、今日ノ所デ増稅ヲヤルト云フコトハ到
底出來ナイノデアリマス、又將來ハ免ニ角
今日ノ計畫ト致シマシテ地租委譲ヲスル爲
ニ公債募集ノ計畫ヲ立テルト云フコトハ、
是ハ政府ト致シマシテ絕對ニ同意スルコト
ノ出來ナイ事柄デアリマス、左様ニ考ヘマ

スト云フト、縱令主義ニ於テ地租委譲ガ良ク
テモ惡クテモ、ソレヲ實行論トシテ考ヘマ
スト云フト、之ヲ實行スル所ノ財源ガナイ、
況ヤ營業稅マデ委譲スルト云フコトニナリ
マスレバ、一億三四千萬圓ノ財源ヲ要シマ
ス、愈、以テ其財源ノ調達ニ苦シムト云フ
コトニナリマス、要スルニ主義ノ問題ハ免
ニ角トシテ、政府ガ地租委譲ニ同意シ難イ
所以ノモノハ、第一ガ租稅ノ體系ノ壞スト
云フコト、第二ハソノ財源ガナイ、此二
點ニ歸著スルと思ヒマス
○添田壽一君 モウ一ヶ條私ハ、モウ此以
上問ヒマセヌカラ……
○委員長(子爵前田利定君) 御遠慮ハ要リ
マセヌ
○添田壽一君 皆様ニ相濟シマセヌガ、根
本問題ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、一體國
民ニ……簡單ニ申上ゲマス、我が國民ノ納
稅ニ關スル考ヘガ改マリマセヌ以上ハ、如
何ニ綿密ナル稅法ヲ御布キニナリマシテ
モ、私ハ甚ダ目的ガ達シ難カラウト思フノ
デアリマス、ドウシテモ納稅義務ノ觀念ト
云フモノ、涵養ト云フコトガ伴ヒマセヌケ
レバ餘程徵稅費ヲ増シ、又民心ガ幾ラカ此
租稅ニ關シテ面白カラヌ形ヲ取ルヤウニナ
リハセヌカト云フコトヲ憂フノデス、阪谷
男爵モ本會議ニ於キマシテ既ニ御述ベニナ
リマシタ、例ヘバ營業收益稅法ノ二十五條、
又前ノ、今度廢サレムト致シマスル現行ノ
營業稅法ノ三十三條ニ於テモ帳簿檢査、質
問ナント云フ權ガ收稅官吏ニ與ヘテアリマ
ススケレドモ、ソレハ餘程、大藏大臣ノ本會
議ニ於テ述ベラレマシタ通り、餘リ濫用ニ
ナリマスト云フト非常ニ納稅者ノ又所謂心
理狀態ニモ大變關係スルノデアリマス、ソ
レデドウシテモ一方ニ德義ト云フモノ、即
チドウシテモ國民ハデス自ラ與ヘナケレバ

ナラヌ國家デアリマスカラ、封建時代ト違
テ進ンデ稅ヲ納メナケレバナラヌ、納メル
高ガ不足ト思フカラ、英吉利人ガヤリマシタ
如ク、良心ノ苛責ニ依リマシテ、無名デ不
足額ヲ大藏省ニ拂込ムト云フガ如キマデニ
至ラヌニシテモ、唯ドウモ脫稅ヲスルコト
ヲ以テ是レ能事ナリト云フヤウナ惡習慣ハ
ドウシテモ私ハ打破シナケレバイカヌト思
フノデアリマス、ソレ故ニ此普選ナドヲ御
實行ニナリ、國民全體ガ政治ヲ自ラ義務的
ニ支ヘテ行カナケレバナラヌト云フ時代ハ
勿論然リデアリマス、之ニ付テ何カ、國民納
稅德義涵養ト云フコトニ付テ何カ大藏大臣
ニ於テ今後策ヲ御講ジニナル考ヘガアラ
シヤイマスカト云フコトヲ伺ヘレバ大變有
難ウゴザイマス
○國務大臣(濱口雄幸君) 其點ニ關シマシ
テハ大藏省內ニ於キマシテモ、亦全國ノ稅
務監督局稅務署ニ於キマシテ相當ニ注意ヲ
致シマシテ、種々ノ方法ヲ行テ居リマス、
例ヘバ納稅道德ニ關スル所ノ講話ヲヤリマ
ストカ、或ハ小冊子ヲ配付シマストカ、或
ハ「ピラ」ヲ配リマストカ云フヤウナコトヲ
ヤツテ居リマスガ、是ハ本會議ニ於テモ私
ハ申上ゲタト思ヒマスガ、枝葉末節デアリ
マス、是ハ枝葉末節デアリマス、根本ハ矢
張り國民道德ノ全體ノ進歩ニ待タナケレバ
ナラヌ、納稅道德トカ選舉道德トカ云フ區
別ノアルベキモノデアリマセヌ、總テ國
民ノ道德ガ揃テ進マンケレバ完全ニ目的
ヲ達スルコトハ出來ナイト思ヒマス、其點
ニ付テハ大藏省ノ管轄ヲ離レマススケレド
モ、學校教育、社會教育、家庭教育、總テ
ノ點ガ揃テ參リマセヌト、是ハ困難デアラ
ウト思ヒマス、種々ノ事ヲヤツテ居リマス
ガ、是ハ露骨ニ申シマスト枝葉末節ニ過ギ
マセヌ、大體一般ノ國民道德ガ進歩スルコ

トヲ待タナケレバナラヌト思ヒマス
○委員長(子爵前田利定君) 添田君ハ……
○添田壽一君 私人デ恐縮デゴザイマス
カラ……
○委員長(子爵前田利定君) 御遠慮ハ要リ
マセヌ

○添田壽一君 唯一言申シテ置キマスガ、
國民總體ノ道德ノ進歩ハ大事デゴザイマス
ガ、其前ニデスナ、大藏大臣トシテ納稅義
務者ニ特別ニ納稅道德ヲ涵養遊バスト云フ
何カ御考ハアリマセヌカト云フコトダケヲ
チヨット……

○國務大臣(濱口雄幸君) ドウモ特別ニ納
稅道德ヲ大藏省ト致シマシテ向上セシ
ムルト云フ適切ナル方法ハ發見スルコトガ
困難デアラウト思ヒマス、教科書ニモ、小
學校ノ教科書ニモ其事ヲ入レテ貴、テ居ル
ヤウデゴザイマスケレドモ、是レ以テ完全
ナル所ノ效果ヲ奏スル譯ニハイクマイト思
ヒマス、尙ホ適當ノ方法ガアリマスレバ實
行イタシマスルガ、大體ソレハ困難ナル事
柄デアリマス

○藤山雷太君 私ハ斯ウ云フコトヲ御尋申
シテ見タイト思ヒマス、稅ノ立テ方ノ上ニ
付テ種々御説明ニナリマシタガ、社會政策
ノ上カラ……勿論コノ社會政策ノ方ニ行ク
コトデアリマスガ、社會政策ヲ十分ニ實行
スル爲ニ產業ガ起テ來ルト云フ產業獎勵
ノ途ヲ講ジナケレバ非常ニ失職者ガ、職ヲ
失スル者ガ出來テ參リマスカラ、產業ヲ矢
張り振興サセル方策ヲ以テ矢張り稅モ御立
テニナラヌケレバナラヌト思ヒマス、社會
政策ト云フコトハ矢張り其處マデ考ヘテ行
カナケレバナラヌカト思ヒマス、其點カラ
考ヘマシテ、今公債トカ社債ハ利子ハ五六
分デアリマスルケレドモ、產業ヲ興スト云
フコトニナリマス、ドウシテモ株式カナ

シカデヤッテ行カナケレバナラヌ、所ガサウ
云フ產業ヲ興シテ綜合課稅ヲヤッテ參リマ
スルト、公債社債ヲ有ツ方ガ宜イト云フコ
トニナリマシテ、產業ヲ興サウト云フ實業
家ハ段々少クナリハシナイカ、寧ロ公債社
債ヲ有テ居ル方ガ宜イト云フヤウナ形ニ
ナリマス、故ニ此租稅……稅ガ出來マスル
時分ニハ大分源泉課稅ト綜合課稅ニ付テハ
議論ガアリマシテ、寧ロ源泉課稅デヤッ
方ガ宜イ、ケレドモ是モ其當時社會政策
ノ上カラ成リタタ產業ハ金持ガ起スモノデ
アル、而シテ其資產家ニ餘計負擔ヲサセル
ト云フコトハ社會政策上必要デアルト云フ
ヤウナコトカラ綜合課稅ニナリ、累進稅ガ
出來テ居ル譯デアリマスガ、今日ノ事業ヲ
起ス者ハ必ズシモ偉イ金持バカリ起スモノ
デハナイ、頗ルドウモ金融ヲ仰イデ事業ヲ
起サナケレバナラヌト云フ、所謂事業家モ
アリマスルガ、所ガソレナ金ノ有ル人デモ
公債社債ヲ有テ居ル方ガ宜イト云フ形ニ
ナリマシテ、自然トサウ云フ傾向ガ私ナド
ハ起リツ、アルヤウニ思ヒテ居リマスルケ
レドモ、是モ大分長イ間御實行ニナッテ居
リマスガ、矢張り綜合課稅ヲ此儘御續ケニ
ナリマシテモ、又社會政策ノ上カラ產業ナ
ドニ餘リ……此上モト起ルコトヲ私ナド
ハ希望イタシマスルガ、却テ此社會政策ノ
上カラモ、モウ少シ產業ノ振興發達ヲ期ス
ルガ爲ニハ其點ニ御留意ニナッテ御ヤリニ
ナル方ガ宜イヤウニ考ヘマスルガ、其點カ
ラ御差支ナイト云フ御考デアリマセウカ、
是ハ大分始終、綜合源泉ノ問題ニ付テハ我
我ノ、實業家ノ一部ニハ是非共此際源泉課
稅ニ變更シテ貴ヒタイト云フ希望ヲ有テ
居ル人モアリマス、併シ必ズシモ我々ハ
ソレデナケレバナラヌトモ考ヘテ居リマセ
ヌガ、稅制ヲ御考ヘニナル場合ニハ十分是

等ノ點ニモ御考慮ニナッテコトト考ヘマス
カラ、ソレヲ一ツ伺ヒマス
○國務大臣(濱口雄幸君) 私ノ考ヘマスル
所ニ依リマスレバ、是ハ理論ヲ申上タルヤ
ウデアリマスケレドモ、所得稅ハ一體總テ
綜合的デアアルノガ本體デアルト思ヒテ居リ
マス、總テノ所得ヲ納稅者ノ一身ニ綜合シ
テ、ソレニ依テ免稅點ヲ定メ、サウシテ免
稅點以上ノモノニ對シテハ累進稅ヲ課ス
ル、其累進稅ノ率ハ別問題デアリマスガ、
適當ナル累進稅ヲ課スル、ソレデ一般所得
稅ノ稅率ヲ決メマシテ然ル後ニ之ヲ包含ス
ルガ爲ニ各種ノ稅ヲ課スルト云フコトガ本
體デアルト思ヒテ居リマス、所デ綜合課稅ヲ
ナスニ適シナイモノガアルト思ヒテ居リマ
ス、本來カラ申シマスレバ今日ノ所得稅法
ノ第二種ノ所得ノ如キハ是亦綜合課稅ニシ
タイト思ヒテ居リマス、御承知ノ通り多クハ
無記名ノモノデアリマスカラ其無記名ナル
所ノ有價證券ヲ綜合課稅ニスルト云フコト
ハ今日ノ納稅道德ノ下ニ於テハ實行ガ出來
ナイ事デアリマスカラ已ムコトヲ得ズ第二
種ノ公債社債銀行利子ノ如キハ源泉課稅ニ
依テ免稅點モナク累進稅モナク致シテ居
ルノデアリマス、今度ハ是ト比例ヲ有テ
來ルノハ株式ノ配當デアリマス、株式ノ配
當ハ綜合課稅トシテ取ルコトガ出來ルカ出
來ヌカト云フコトハ問題デアリマス、總テ
記名式デアリマシテ無記名式デナイノデア
リマスカラ綜合課稅ノ出來ル所ノ一ツデハ
アリマスケレドモ、先年ノ改正ノ當時ノ政
府ノ原案トシテハ御承知ノ如クモウ少シ徹
底的ニヤッテ居タト思ヒマスガ、議會ニ於
テ多少ノ修正ガ加ハリマシテ、現行ノ通り
ニ決ッテ居デアリマスガ、之ニ對シテハ唯今
藤山君ノ仰セラレマシタヤウナ議論モ承ルコ
トモアリマスケレドモ、私ハアレヲ綜合課稅

ニ致シテ居ルガ故ニ會社ノ創立ヲ妨ゲ或ハ
其發展ヲ拒ムト云フヤウナ如キコトモ無カ
ラウト思ヒテ居リマス、無イ積リデアリマ
ス、既ニ著シキ障礙ガ無イトスル以上ハ一
度決メタ所ノ綜合課稅ヲ途中カラ撤回イタ
シマシテ元ノ源泉課稅ニ逆轉スルト云フコ
トハ、是ハドウモ政府ト致シテ甚ダ好マヌ
所デアリマス、又同意シ難イコトデアリマ
ス、然ラバソレト申シテ何カ現在ノ制度ヲ
維持スル上ニ於テ非常ナ缺點ガアルト云フ
コトヲ立證サレマスレバデアリマスケレド
モ、私ハ左様ニモ考ヘテ居リマセヌ、大體
所得稅ノ方ハ今日ノ第一種第二種第三種
デ、アノ形ニ於テ先ヅ各種ノ所得ガ凡ソ平
均イタシテ負擔ヲ受ケテ居ルト思ヒテ居リ
マス、其上ニ今度ノ資本利子稅ヲ課ケマス
レバ、是ハ各種ノ有價證券公債ヲ初メ總テ
株式ノ配當所得トシテ課稅ヲ受ケマセヌケ
レドモ、營業收益稅ニ依ッテ總テノ營利法
人ニハ收益稅ヲ課スルト云フコトニ致シマ
シタカラ、源泉ニ依ッテ補完稅ヲ入レルト云
フコトニナリマスレバ、斯ウ云フ形ニナリ
マスカラ此度ノ稅制整理ニ依ッテ從來ノ保
タレタル所ノ公平ヲ害スルト云フコトハナ
イ、大體現狀ノ通り其點ニ於テハ公平ハ保
タレル筈ト思ヒテ居リマス、要スルニ現在
ノ株式ノ配當ト云フモノハ綜合課稅ニシテ
アルガ爲ニ產業ノ發達ヲ阻害シテ居ルト云
フコトヲ考ヘタコトモアリマセヌシ、又現
在ノ綜合課稅主義ハ大體ニ於テ適當デア
ルト云フヤウニ考ヘテ居リマス、若シ出來得
ベクンバ更ニ一步ヲ進メテ今日ノ第二種所得
稅モ出來ルナラバ綜合課稅ニ致シタイ、斯
様ニ考ヘテ居リマス、其點ハ今ハマダ是ハ
實行ノ時期デアリマセヌ、之ヲ實行スルマ
デニハ相當ノ年月ヲ要スルコトデアラウト
思ヒマス、綜合課稅ヲ逆轉シテ源泉課稅ニ

スルト云フ考へハ有ッテ居リマセヌ

○藤山雷太君 私ハ公債社債ノ所有者ハ無論資産家デアッテ株式ヲ以テ色々ノ計畫ヲ立テルヤウナハ必ズシモ資産家デハナイ、サウ云フヤウナ點ニ付テ公債社債ヲ、寧ロサウシマス、綜合課税ト云フモノガ今日ノ時代ニ適シタモノトスレバ社債公債ヲ記名式ニスルコトヲシテ、サウシテ綜合課税ニスルト云フコトハ出来マセヌカ

○國務大臣(濱口雄幸君) 公債社債ノ如キヲ記名式ニスルト云フコトハ、租税ノ制度ヲ離レテ別ノ見地カラ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、ソレヲ綜合課税ニスル爲ニ之ヲ記名式ニシテ置クト云フコトハ餘程考ヘ物デアリマス、唯今ノ藤山君ノ御説ノ株式ヲ有ッテ居ル者ハ大體ニ於テ資産階級デナクシテ、公債、社債、銀行ノ預金ノ利子ヲ取得スル者ハ何方カト云ヘバ資産階級デアルト私ハ考ヘル、此點ニ於テハ同等デアルト云フヨリハ寧ロ反對デアル

○委員長(子爵前田利定君) 如何デアリマセウカ、今日ハ此程度ニ止メマシテ、明日ハ午前十時半カラ始メタイト思ヒマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵前田利定君) 尙ホ大體ニ付テ御質問ガアレバ何時デモ御遠慮ナク御發言ヲ願ヒタイト思ヒマス、今日ハ是デ散會致シマス

午後四時二十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵前田 利定君
副委員長 男爵阪谷 芳郎君
委員

子爵青木 信光君
子爵裏松 友光君
石原 健三君
男爵藤村 義朗君

男爵長 基連君

仁尾 惟茂君

添田 壽一君

南 弘君

井上準之助君

馬場 鎮一君

西野 元君

藤山 雷太君

末延 道成君

山田 惠一君

左右田喜一郎君

國務大臣

内閣總理大臣兼 若槻禮次郎君

內務大臣 濱口 雄幸君

大藏大臣 濱口 雄幸君

政府委員

內務省地方局長 潮 惠之輔君

內務書記官 田中廣太郎君

大藏省主稅局長 黒田 英雄君

大藏書記官 藤井 眞信君

大藏書記官 佐野 正次君

大正十五年三月三日印刷

大正十五年三月四日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局